

平成20年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・クワコナカイガラムシ（No.2）

平成20年7月11日

鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ第1世代幼虫のふ化が、平年（7月3日）より遅い7月10日に始まった。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底する必要がある。

2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ第1世代幼虫のふ化が、平年より遅い7月10日（平年：7月3日）に認められた。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、第1世代幼虫のふ化最盛日は、平年より7日遅い7月14日前後（平年：7月7日）と見込まれる。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。
- (2) 多発園では、5～10日間隔で発生状況を確認しながら、次の時期を目安に2回の防除を行う。

幼虫ふ化最盛期	7月14～18日
幼虫ふ化終期	7月19～23日

少発園では7月18日前後に1回防除を行う。
- (3) 薬剤はモスピラン水溶剤4,000倍液、ダズバンDF4,000倍液、スミチオン乳剤1,500倍液などを使用し、連用を避けて輪番散布する。
- (4) 薬剤の散布にあたっては、カイガラムシが集合する枝葉のほか、枝の切り口、粗皮などにも十分にかかるようにする。
- (5) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。